

【ドラッグストアにおける障がい者対策の現状】

2020年10月26日

日本チェーンドラッグストア協会

一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会（JACDS）

- 代表理事 会長 池野隆光
- 正会員（ドラッグストア、その他小売業）131社
- 賛助会員（製造業、卸売業ほか）225社 ■ 個人会員20名 ■ 学校会員26校
- 店舗数20,631店（うち調剤併設店舗数約7,000店）（会員企業で92%）
- 売上高7兆6,859億円（会員企業で92%）

会員企業の主な障がい者対策事例

- オストメイト配慮型トイレの設置
 - AEDの設置
 - 認知症サポーターの養成
 - 障がい者施設とのコラボレーション
 - 日本盲導犬協会への寄付
 - そらぷちキッズキャンプへの寄付
 - 特例子会社における雇用と自立支援など
- ⇒ 協会内で更なる対策の充実を推進していきたい

ウエルシアホールディングス(株) の事例（詳細は次ページ）

【企業概要】

- 企業理念 「お客様の豊かな社会生活と健康な暮らしを提供します」
- 代表取締役会長 池野隆光
代表取締役社長 松本忠久
- 資本金77億36百万円
- 売上高8,682億円（2020年2月期）
- 店舗数2,178店舗（10月1日現在）
（うち調剤併設店舗数1,569店）
- 東京証券取引所市場第一部上場

ウエルシアの障がい者対策事例

■ オストメイト配慮型トイレの設置→1,515店

人工肛門、人工膀胱を保有している方の排泄のためのトイレ



■ AEDの設置→1,992店、年間稼働20回

毎年1回従業員研修実施



■ 認知症サポーターの養成

社内の12名のキャラバンメイト（講師役）による毎年の従業員研修（障がい者含む）、地域の自治会等の集まりでも実施

■ 日本盲導 犬協会への寄付

2,200万円（2019年度）



■ そらぷちキッズキャンプへの寄付

難病とたたかう子どものための医療ケア付きキャンプ場

826万円（2019年度）



■ 障がい者施設とのコラボレーション

- ・ウエルカフェ（305店舗に設置された地域の居場所づくり）で施設で生産・製造された野菜やパン等の販売、ワークショップ開催
- ・当社運営の地域包括支援センター（埼玉県白岡市）にて白岡市の障がい者施設の手作りの座布団やアクセサリを展示、紹介→介護相談業務（月100件）の中、障がい系の案件は約10%



■ 特例子会社における雇用と自立支援

- ・障がい者の「自立」と「65歳定年までの雇用」をサポート
障がい者537名（知的72%、精神23%、身体5%）
雇用率3.13%、離職率6.5%（2019年度）
- ・業務内容
 - ①店舗業務（接客・売場管理等）
 - ②環境整備（清掃・買物カゴ洗浄・陳列什器リユース等）
 - ③物流センター業務（オリコン積載仕分け、トレー回収等）
- ・余暇のサポート
スポーツ大会の開催（障がい者W杯サッカー参加者輩出も）

